

スマホによる犯罪と防止

鳥取県米子市立加茂中学校 3年 山本 茉侑香



最近ではコロナウイルスの影響により、外に出る機会が少なく、家にこもっていたり、スマホやタブレット、パソコンなどを使用する時間が増えていると思います。それは大人だけではなく、子供にも関わっていることです。近年では、スマホの急速な普及により、携帯電話やスマホを利用している子供の割合は、中学生で約6割、高校生では9割以上に達していて、今の学生はほとんどの人がネットやアプリなど、様々な機能を使用することができるということが分かります。スマホは、アプリをインストールするだけで写真や動画、地図、無料通話、ゲームなど、小型軽量な端末で毎日の生活を過ごしやすくしてくれるものです。しかし一方で、スマホで簡単にインストールできるアプリを悪用して、事件が絶えなくなっています。

その代表ともいえるのが、出会い系サイトやコミュニティサイトを利用した犯罪です。出会い系サイトとは、電子掲示板や電子メール等の機能を用いて、交際を希望する面識のない異性同士の交流をとりもつことをはかるウェブサイトのことで、コミュニティサイトとは、電子掲示板や電子メール等の機能を用いて、興味や関心が共通する人同士が情報交換できるウェブサイト全般のことです。これらを利用した犯罪は児童を対象とした事例が多く、児童ポルノ、児童買春、児童福祉法違反などがあり、金銭や品物ではなく、児童の身体が狙われていることが分かります。その他、インターネット上でのいじめや、いたずら動画の投稿など、様々な事件が起きています。

では、どのようにしたらこのような事件が起きずに、楽しく利用することができるのでしょうか。インターネットは本名や自分の顔など、個人情報に関わることを公開しなくても利用することができます。だからといって好き勝手に使用していると、思いもよらないところから個人情報がもれてしまう可能性が十分にあります。防止策として、あまり自分の個人情報となるものはあまりネット上に公開しないようにすることです。例えば自分の名前や住所はもちろん、自分の家のまわりやカードの暗証番号などもやめましょう。なので、写真や動画を投稿するときには、個人情報特定につながるものはないか、しっかりと確認することが必要です。自分は親と共有してるし、フィルタリングもかけているから大丈夫と思って油断せずに、自分はこういう対策をしているけれど、防犯意識を高めて利用しよう、という心がけを持つことが大切です。また、女性や男性、同性の同級生などになりすまし、自撮りや下着姿などの写真を送ってもらうというような事件も多いので、簡単にネット上でかかれているものを信

じないようにしましょう。

ネットやSNSは怖いものだらけだからあまり使用しない方が良いなど考える人も多いと思いますが、少なくとも私はそうではないと思います。確かに、ネットには分からないことだらけだけど、ネット上のルールやマナーを知って利用したり、無理なものはきっぱりと断ったり、なにかSNSなどでトラブルがあったら一人で抱え込まずに色々な人に相談したりすることで、イヤな思いをせず、楽しくスマホを利用することができると思います。自分もスマホを利用しているので、そういった犯罪に気を付けながら、楽しくスマホを使用していきたいです。